

県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	令和元年度 全国中学校体育大会 第49回全国中学校バスケットボール大会	開催地	和歌山県和歌山市
報告者名 (所属連盟)	若林 謙作 (中体連)	派遣期間	令和元年 8月 22日 ~ 25日
参加者 (所属都県)	<p>【本部】 蒲健一(東京) 加藤暁生(東京) 草野申明(東京) 尾形美樹(長野) 玉木彰治(富山) 宇田津浩史(愛知) 橋本恵一(島根) 小島慶子(香川) 福岡敏徳(長崎) 御手洗亮(大分)</p> <p>【近県派遣】 浅野祐樹(大阪) 小出聡子(京都) 高野晃平(大阪) 富島健司(京都) 渡邊浩二(滋賀) 内田祥平(兵庫) 加藤加織(滋賀) 開康寿(大阪) 真下香子(兵庫) 山田依美里(京都)</p> <p>【研修生】各都道府県より51名</p>		
【審判会議内容】	<p>【研修会テーマ】「処置ミスゼロの3POメカニクスの実践」 ~ベーシックの確認と徹底、情報共有の重要性に着目して~</p> <p><研修1>グループディスカッション(映像分析) 講師:福岡氏 映像分析ポイント①3PO Mechanics basic ②処置ミスゼロに向けての3PO(クルーワーク・TOとの連携) ③その他(プレゼンテーション・ゲームコントロール・ガイドライン ※インテグリティ)</p> <p><研修2>3PO Mechanics basicとプレイコーリングガイドライン 講師:小島氏、尾形氏 ・グループディスカッションより… ・よいゲーム運営に欠かせないことは、基本的なことを積み重ねる ・処置ミスゼロで大会を終えるためにはメカニクスを理解することが必要 ・Timing of rotation ・マージナル、イリーガル、ノーファールについて ・今大会でチャレンジすべき事は <u>①クロスコール× ②POCにこだわる ③ポジションアジャストの3点</u></p> <p><研修3>処置ミスゼロにつながるIOTとTOとの連携 講師:宇田津氏、橋本氏 ◎処置ミスゼロにつながるIOT ・ゲーム中に起こるトラブル ・処置ミスにつなげない予防と解決策 ・ショットクロックリセットやフリースローシューター ◎処置ミスゼロにつながるTOとの連携 ・TOクルー(PGC含む)、フロアキーパー ・アイコンタクト ・Case Study ・Interpretation ・Conclusion</p> <p><研修4>インテグリティと審判 ・インテグリティとは ~誠実さ 真摯さ 高潔さ~ ・スポーツ界における危機 ・インテグリティ委員会として バスケットボールの質を高める「昭和の野球、平成のサッカー 令和のバスケ」 ・インテグリティ精神をガイドラインに反映 振る舞いに対するファウル(TF) ・インテグリティにおける審判の役割 審判員は、常に公平であり、毅然とした態度で、そして責任感を持ち、オープンマインドの心で… そのうえで、競技規則、プレイコーリング・ガイドラインに則り、決して感情的になることなく、笛そして声によって粛々と試合を運営する。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・気付く → クロック & TOを見る習慣 ・声を出す → 周知することで予防 ・確認 → OKサインの意味は？ </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール → 処置 ・メカニクス → 役割分担、その責任は？ ・プレゲーム → アシスト&コミュニケーション </div>		

県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日: 令和元年 8月 23日(金)

審判員名	若林 謙作	相手審判	U1:岩瀬 寛明(香川) U2:千原 翔太(大分)
カード	男子予選リーグ	吉備(和歌山)	対 葵(愛知)

審判員名	若林 謙作	相手審判	U1:辻崎 紀晶(福井) U2:桑本 大貴(鳥取)
カード	男子予選リーグ	横浜(高知)	対 加茂川(京都)

割当日: 令和元年 8月 24日(土)

審判員名	若林 謙作	相手審判	U1:宮崎 拓(広島) U2:宮崎 洸丞(佐賀)
カード	女子決勝T1回戦	高南(大阪)	対 津田(徳島)

◇ ミーティングの内容

- ・TのポジショニングでオフENSEの背中越しになることがある。
- ・オフENSEファールやオフボールでのファールを取り上げた時には、プレゼンを強めにする。
- ・ファールコールの後に次のリスタートを速やかに示した方がいいケースがある。分かりやすいプレゼンを。
- ・ファールコール→レポート→次のポジション、この見せ方をもっと意識した方がいい。

割当日: 令和元年 8月 25日(日)

審判員名	若林 謙作	相手審判	CC:蒲 健一(東京) U1:木村 健太郎(和歌山)
カード	女子準決勝	高南(大阪)	対 長良(愛知)

◇ ミーティングの内容

- ・テンポセットからゲームの終わり方まで非常に良く、最後は選手が決めた見ごたえのある試合だった。
- ・長良のスクリーンを2回取り上げたが、公平性を考えると高南にも1回取り上げておいた方がいいケースがあった。
- ・高南の守り方について、クルーが共通の判定基準を示していけるともっと良かった。

《審判主任》阿部 暢史(新潟)

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回、研修生という形で全中に参加させていただきました。研修会の中では映像検証からインテグリティに関することまで、インターハイでの研修を踏襲する形で進められました。県内で常日頃から言われていることから新鮮なものまで、約4時間という濃密な時間を過ごすことができました。その中で「処置ミスゼロの3POメカニクスの実践」というテーマで、様々な観点から講義を聞くことができました。クルーでの協力はもちろん、TOやコーチとの関わり方についても話を聞くことができ、とても勉強になりました。また今大会ではインターハイと同様、TOミーティングを試合の30分前に行い、事前にコミュニケーションを図り、試合に臨むことができました。普段の県内の公式戦では難しい状況ではありますが、試合前の10分間の過ごし方を見直すきっかけになるのではないかと感じました。この貴重な経験を今後に生かしていきたいです。

最後になりますが、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊諭県審判長はじめ県内審判員、和歌山県審判員、大会関係者各位に心より感謝申し上げます。

若林謙作